Flora! フローラ 花の饗宴

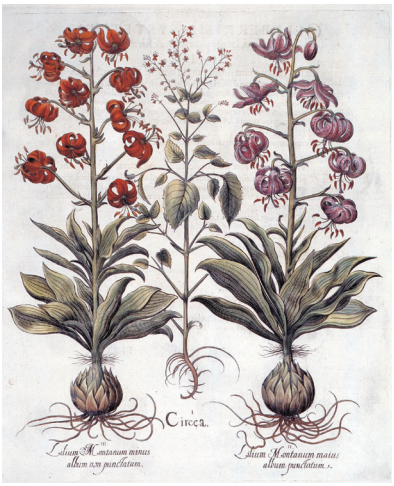
ルドゥーテの『美花選』と植物図譜の世界

人類の歴史の中で、人々が花や植物を見る目はどのように変化してきたのでしょうか。

西洋でギリシア時代以降、薬草の効能を伝えるために描かれるようになった植物図は、植物学の発達とともに、実物を仔細に観察することで、さらに詳しく正確な描写へと変わっていきます。同時に、花の美しさやその形象の神秘への関心が高まると、裕福な人々は庭園を築き、競って他国からも貴重な植物を入手、栽培し、画家たちにその姿を描かせるようになりました。こうして17世紀以降、科学と美を兼ね備えた、宝石のような豪華な花の図譜が次々と誕生してきたのです。

ピエール =ジョゼフ・ルドゥーテ（1759〜1840）はその歴史の中で、最も人気のある画家の一人です。王妃マリー・アントワネット付きの宮廷画家となり、ナポレオン妃ジョゼフィーヌが蒐集したバラを描いたことで知られるこの画家は、描いた花々の優美さから「花のラファエロ」と称えられました。

『美花選』は、ルドゥーテが描いた様々な種類の花や果実 144点を、優れた銅版技術によって出版した植物図譜です。この展覧会では『美花選』全点を一堂に展示し、あわせて17世紀から現代にいたるヨーロッパで制作された、精緻な美しさに満ちた植物図の数々をご紹介します。ぜひ群馬県立近代美術館でボタニカル・アートの魅力を存分にお楽しみください。



A

B

C

D

E

F

A.《マルタゴンリリー、エゾミズタマソウ》
『アイヒシュテットの園』より　1613年刊
銅版、手彩色・紙

B.《セダム・アフリカヌム》
『花譜』より　1737-45年刊
銅版、手彩色・紙

C.《ポモ・ダダモ・スピノーゾ》
『ニュールンベルクのヘスペロスの娘たち』より
1708-14年刊　銅版、手彩色・紙

D.フィリップ・ライグナル《ベニゴウカン》
『フローラの神殿』より　1799年刊
銅版、手彩色・紙

E.ジェーン・ラウドン
《チョウセンアサガオ属、オオセンナリ、ナス属》
『レディース・フラワー・ガーデン』より
1840年刊　リトグラフ・紙

F.ピエール=ジョゼフ・ルドゥーテ
《赤のラナンキュラス、紫と黄色のパンジーの花束》
1821年　水彩・ヴェラム

全てコノサーズ・コレクション東京蔵

【関連事業】

記念講演会　優美なる花々ールドゥーテ『美花選』を中心に
講師：宮澤政男（Bunkamuraザ・ミュージアム上席学芸員）
5月29日|日|　14:00 〜 15：30　当館2階講堂　申込不要・聴講無料（先着200名）

学芸員による作品解説会
5月11日|水|、6月11日|土|14：00 〜 15：00　申込不要・要観覧料

ワークショップ
ルドゥーテのカーネーションをつくろう　5月7日|土|、6月5日|日|
10：00 〜 12：00、14：00 〜 16：00　申込不要（本展をご覧になった方限定）・無料
対象：小学校3年生以上
※一度に参加できる人数が限られているため、お待ちいただく場合があります。

次回展覧会　鴻池朋子展「根源的暴力」　2016年7月9日|土| 〜 8月28日|日|

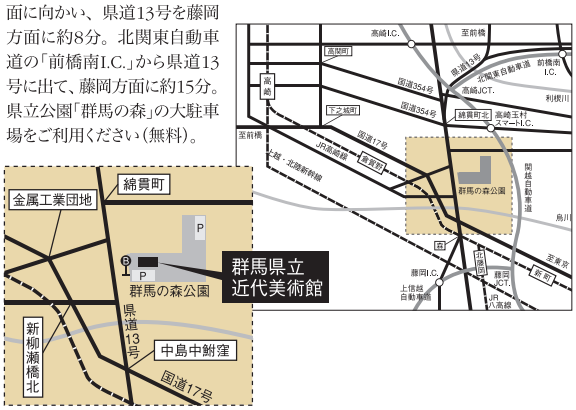
群馬県立館林美術館のご案内　絵本・動物・地球展　2016年4月16日|土| 〜 6月26日|日|

［交通案内］

電車・バス：JR高崎線、湘南新宿ライン、上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線で高崎駅下車（新幹線は東京より約60分）。高崎駅東口より市内循環バス「ぐるりん」9、10、15系統で約30分、「群馬の森」下車（200円）。

タクシー：JR高崎駅東口より約20分。JR倉賀野駅、新町駅より約10分。

車：上信越自動車道の「藤岡I.C.」高崎方面出口より出て、県道13号を前橋方面に向かい約10分。関越自動車道の「高崎玉村スマートI.C.」（ETCのみ）より高崎方面に向かい、県道13号を藤岡方面に約8分。北関東自動車道の「前橋南I.C.」から県道13号に出て、藤岡方面に約15分。県立公園「群馬の森」の大駐車場をご利用ください（無料）。



群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

〒370-1293　群馬県高崎市綿貫町992-1
Tel.027-346-5560　http://mmag.pref.gunma.jp/
https://facebook.com/gunmakinbi